



令和6年7月1日

7月号

桜の聖母学院小学校

「こころ」と「からだ」

学校長：武藤 浩之

- 明日のことです。5年前の聖母小だより7月号。その巻頭言で触れたことがありました。7月2日が「創立記念日」になっているのはなぜか、ということです。
- 聖書には『大天使ガブリエルのお告げにより、聖母マリアが親戚のエリザベトを訪問したこと』が記されています。それを記念するためにカトリック教会では、7月2日を祝日の一つにしてきました。数多の困難を苦ともせず、むしろ欣然として訪問に至った聖母マリア。その「精神」は、創立者マルグリット・ブルジョワに引き継がれ本学院創立の端緒となります。7月2日を「創立記念日」としているのはそれゆえのことです。
- 「精神」に近い言葉に換言します。標題の「こころ」です。今年度も学校全体の重点目標は、強くたくましい子どもですが、そこにはもちろん「こころ」が含まれます。例えば5月の聖母月。何かを実行するためには、自分との葛藤が生じます。振り返る際も自分と向き合わなければなりません。つまるところ「こころ」を鍛える場でもありました。例えば6月の校内陸上記録会。言うまでもなく「からだ」を鍛える場でしたが、自分との闘いはまさに「こころ」を鍛える場でもありました。
- 「こころ」と「からだ」。時には「からだ」と「こころ」。その両方によって子どもたちは成長していきます。1学期も残すところひと月ほどになりましたが、日々の学校生活や行事を通して、これからもしっかりと「こころ」と「からだ」を育てていきたいです。

【自己ベストをめざして！「校内陸上記録会」…2024.6.4(火) 体育科 湯川 洋】

前日夕方の雨でグランドコンディションが心配されましたが、良い状態で大会を実施することができました。「5分間で何メートル走れるか」を競う大会で、今年で2回目となります。全校生で大会に向けて走りこんできた成果があり、どの学年も意欲的な走りをしていました。特に、6年男子のトップ争いのデットヒートはとても興奮させられました。初めての参加となる1年生も、予想以上に距離を伸ばすことができました。今後も走ることを継続してほしいと思います。21日(金)には「プール開き」を行ないました。今シーズンモルールを守り、安全第一で授業を行ないます。



デットヒートを繰り広げた3人！



苦しい自分と闘った、初参加の1年生！



「プール開き」5,6年生のデモンストレーションでは、クロール、平泳ぎ、背泳の披露がありました。

ご協力ありがとうございました

- ◇6月1日(土)に、今年度1回目の「資源回収」と「ベルマーク作業」を行ないました。
- ・ベルマーク作業… 点
- ・資源回収… 次号でお知らせいたします。
- ◇次回11月2日(土)におきましても、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。学校側担当(奥山、矢吹)

令和7年度「第1回 学校説明会」

- ◇日時：令和6年7月6日(土)10:00~12:00
- ◇対象：外部園児および保護者、内部園児保護者
- ◇概容：英語発表(1, 6年生) 説明会、体験授業(算数)、自由参観
- *お知り合いの方に、ぜひお声をかけて下さい。

6月の催し

- ◇15日(土)「土曜参観日」(幼小同日開催)
- ・講演会では本学院理事長 西内みなみ先生を講師に迎え、「幼少期における家庭教育の重要性」についてお話いただきました。
- ◇19日(水)「年長組 体験入学」
- ・国語と体育の授業を1年生とペアで行ない、小学校の生活を体験しました。

5, 6年合同！聖母中体験 2024.6.13

5年担任 原田 聖士
初めての5,6年合同の「聖母中体験」でした。まず、生徒会長から中学校の一日の生活や行事、部活動についての説明があり、中学校生活について知るだけでなく、聖母中の楽しい雰囲気がよく伝わりました。次に5年生が英語、6年生が社会の授業体験をしました。英語では、文法や発音について学習した後、中学生と英語でやり取りをしました。最後に部活動体験をしました。卓球やバスケットボール、吹奏楽、茶道など、それぞれの部で中学生や先生方から多くのことを教えていただきました。中学生とたくさん関わったり、授業や部活動を体験したりすることによって、中学校進学へのイメージを膨らませることができました。

「中学生と一緒の昼食は、懐かしい感じがしました。」との会話も



防犯訓練を実施しました 2024.6.27

安全指導担当 黒岡 朋子
スクールサポーターの高橋様をお迎えして防犯訓練を行いました。不審者が校舎内に侵入した場合を想定して、児童そして教職員の対応も指導いただきました。講話では、「不審者から身を守るにはどうすればよいのか」や合い言葉「イカのおすし」についての話がありました。不審者に声をかけられたら、「イカのおすし」を実践できるように、今回のような訓練で繰り返し練習していくことが大切なことを学びました。



不審者に声をかけられたら、まずは距離をとりましょう。